

生涯学習マナビ通信 No.9

『防災安全課』の出前講座「災害から身を守るために！」から、
「今を生きる、身の守り方」をご紹介します



近年、大きな災害の増加により危機意識が高まる中、防災・減災に取り組む『防災安全課』の業務について、日ごろ疑問に思っていることを伺いましたのでお知らせします♪

Q 以前は100年に一度の災害と言われていたものが、近年は毎年のように各地で災害が発生しています。市民の防災意識の高まりが出前講座の依頼回数にも反映していると思いますが、市民の方の防災意識はいかがですか？

防：震災直後は地震や津波に対する意識が強かったですが、近年は大雨や台風などの風水害への意識が強いと感じています。山手側では土砂災害、平地側では水害への意識が強く、地域特性に応じたテーマでの講座依頼が主となっています。

Q 出前講座では、どのようなお話が可能ですか？ 実技などの指導はありますか？ 今までの講座事例なども教えてください！

防：防災の講座では、災害時の情報収集方法や避難のタイミングなど災害に備えて今できることなどを伝えています。また、防災倉庫に備蓄しているテントやパーテーションなどの取扱方法なども実技で行うこともあります。

Q 市内での災害発生の傾向はどのようなものでしょうか？

防：近年の大雨や台風、地震など、なぜか週末や夜遅い時間に発生または通過することが多い傾向にあります。

Q 災害を未然に防ぐ、迅速に察知するためには、どのような対策、方法を取れば適切に行動できますか？

防：地震は予知できませんが、大雨や台風は気象情報から予測が立てられます。したがって、スマートフォンのアプリなどを利用して気象情報を知らせる設定にすることも対策の一つです。また、なとり防災メールへ登録して、災害の情報や避難に関する情報をいち早く取得することによって、早めの避難行動に役立てていただきたいです。

Q 災害への備えのために、私たちができることは何ですか？

防：いざ災害が発生してしまうと普段どおりの生活は難しく、物流なども止まってしまうこともあります。よって、事前に飲食物や懐中電灯などを用意しておくことが大切です。また、避難に関する情報などを、ホームページや防災行政無線などを活用して発信しますが、防災ラジオからも情報を取得できますので、ぜひご準備くださいますようお願いいたします。





Q市ホームページ（防災安全課内）に、地区別の「防災マニュアル」がありますが、活用の仕方などを教えてください！

防：地区防災マニュアルには、災害に備えて事前に行えることや防災マップなどを掲載していますので、防災講座などでも教科書のように活用して学習をすることができます。ぜひ、ご家庭でも防災についての話し合いをする機会を作って、このマニュアルをご活用ください。

Q最後に、災害とは話がそれますが、現在、特殊詐欺被害が増加していると聞きました。どのような傾向ですか？ また、それを防ぐ方法はありますか？

防：典型的な手口として、警察官や市役所職員を装った人間からの電話や訪問があるケースが多発しています。被害に遭われる方の多くが、65歳以上の高齢者です。怪しい電話や自宅訪問を受けた場合には、一人で悩まずに、身近な方や専門機関に相談しましょう。また、犯人からの電話は、固定電話に掛かってくるケースがほとんどです。特殊詐欺被害に遭わないためには、電話を直接受けない環境を作ることが有効です。宮城県警では、被害を未然に防ぐために、通話を録音する装置の一部を補助しています。詳しくは岩沼警察署までお問い合わせください。



出前講習のーコマ

非常用発電機の取扱講習の様子

避難所用テントの組み立てなどの取扱講習の様子

《防災安全課》

からのお知らせ

近年では、毎年のように全国各地で自然災害が頻発し、甚大な被害が発生しています。台風や大雨が予想されている場合には、気象情報や避難情報などに注意しながら、早めの避難を心がけましょう。

高齢者や障がいのある人は、警戒レベル3「高齢者等避難」で危険な場所から避難しましょう。また、警戒レベル4「避難指示」で危険な場所から全員避難しましょう。

<参考>

令和2年度の名取市の災害発生件数：6件

令和2年度の出前講座依頼申込件数：6件（うち中止3件）

今回の話し手：防災安全課 橋本係長



今回は、近年増加する災害からの身の守り方や備えなどについて、いろいろと伺うことができました。

地域ごとの具体的な防災対策などについては、ぜひ出前講座を活用して、地域の防災まちづくりに役立てていただければ幸いです。

《編集・発行》

生涯学習推進本部

事務局 生涯学習課 724-7173